

人と自然が輝く水源の郷



アクティブ・ラーニングの授業を見学

- 定例会（中山間地域所得向上支援事業費等の承認）…………… P 2
- 議案等の質疑（農業委員の選出方法、定数は）…………… P 3
- 一般質問（6人が問う）…………… P 4～10
- 議会活動報告…………… P11
- あの一般質問は・今（内水面漁業の振興は）…………… P14
- 紹介／がんばる人紹介（道志村子ども農山漁村地域協議会／仲井義晶）…… P15～16

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

12月 定例会

中山間地域所得向上支援事業費の承認

この事業は、中山間地域の所得向上を図る事業です。(農業施設、農道、鳥獣防護柵の整備など)

12月定例会は12月6日から9日まで開催され、2件の条例制定と3件の改正、一般会計補正予算、5会計の特別会計補正予算などを審議し、原案通り可決承認しました。

また今回の一般質問は、初日に6名全員が一問一答方式で行い、活発な質疑が行われました。

おもな審議事項

●条例制定、改正

- | | | |
|------|----|--|
| 条例制定 | 2件 | ・農業委員会の委員の定数に関する条例の制定
・農業委員会の農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定 |
| 条例改正 | 3件 | ・職員給与条例の一部を改正する条例
・税条例の一部を改正する条例
・各種委員等報酬並びに費用弁償条例の一部を改正する条例 |

●一般会計補正 9567万円を追加し、総額22億449万円で議決

- | | | |
|--------------|-------------------------------|--------|
| おもな財源(補正分) | ・地方交付税(普通交付税算定による増額)…………… | 1799万円 |
| | ・国庫支出金(社会資本整備総合交付金、他)…………… | 651万円 |
| | ・県支出金(中山間地域所得向上支援事業費、他)…………… | 4427万円 |
| | ・村債(一般補助施設整備等事業債、他)…………… | 2690万円 |
| おもな使いみち(補正分) | ・農林水産業費(中山間地域所得向上支援事業、他)…………… | 8044万円 |
| | ・土木費(一の橋耐震補強工事、他)…………… | 1432万円 |
| | ・商工費(道志の湯薪ボイラー施設舗装修繕、他)…………… | 149万円 |
| | ・衛生費(国民健康保険診療所特別会計繰入金、他)…………… | △239万円 |

●特別会計補正

★国民健康保険特別会計 448万円を減額

- | | | |
|---------|-------------------------------|--------|
| おもな財源 | ・共同事業交付金(保険財政共同安定化事業交付金)…………… | △367万円 |
| | ・繰入金(一般会計繰入金)…………… | △81万円 |
| おもな使いみち | ・保険給付費(負担金、補助金など)…………… | △121万円 |
| | ・諸支出金(償還金)…………… | △210万円 |
| | ・介護納付金(負担金)…………… | △112万円 |

★国民健康保険診療所特別会計 192万円を減額

- | | | |
|---------|---------------------------------|--------|
| おもな財源 | ・繰入金(一般会計繰入金)…………… | △195万円 |
| | ・村債(過疎対策事業債)…………… | △140万円 |
| おもな使いみち | ・総務費(各種職員手当、臨時の手当、事務機使用料等)…………… | △151万円 |
| | ・医療費(修繕費、医薬材料費、手数料)…………… | 37万円 |
| | ・公債費(元金、利子など)…………… | △79万円 |

★簡易水道事業特別会計 253万円を増額

- | | | |
|---------|-----------------------|-------|
| おもな財源 | ・県支出金(簡易水道整備負担金)…………… | 110万円 |
| | ・繰入金(一般会計繰入金)…………… | 143万円 |
| おもな使いみち | ・簡易水道事業費(修繕費など)…………… | 253万円 |

★介護保険特別会計 1.4万円を減額

★浄化槽事業特別会計 27万円を減額

QA 議案等の質疑



本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。

Q 農業委員会等に関する法律が改正されたが

●農業委員の選出方法、定数は

A 選挙による選出から、村議会の同意を得て、村長が任命する方式に変更になりました。委員の定数は現状の12名から半数の6名とし、その他に、農地等利用最適化の推進活動を行う、農地利用最適化推進委員が新たに4名設けられました。なお、平成29年7月20日から施工されます。

Q 新事業の中山間地域所得向上支援事業とは

●どのような事業が対象になるのか

A 村内全域における鳥獣被害防止柵（3000m）3,618万円及び大指下農道の整備新設工事（150m）2,203万円、合計5,821万円が主な事業です。（今年度、建設厚生常任委員会で取りまとめ、要望どおり事業化されました）

Q 道志村国土強靱化地域計画の進捗は

●いつまでにまとめるのか

A 国土強靱化基本法13条に基づく国土強靱化地域計画であり、庁内検討委員会及び外部策定委員会（道志村国土強靱化地域計画策定委員会）を組織し、広く意見を聴取したうえ、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と調和を図りながら推進して行く。

12月定例会一般質問一覧

■ 佐藤 和彦 議員

1. 小学校再利用計画は
2. 移住者受け入れで問題は
3. 水カフェどうしの今後の役割は

■ 佐藤 一仁 議員

1. 老人福祉施設、事業者辞退後の検証は
2. 道の駅駐車場整備後の成果は
3. (株) どうしの運営は
4. 公共交通のあり方、具体策は

■ 佐藤 進 議員

1. 役場職員の人材育成は
2. 入札辞退の理由は
3. 移住コンシェルジュの活動は

■ 杉本 孝正 議員

1. 学童保育施設の活用は
2. 新たなドクターヘリポートの建設予定は

■ 佐藤 長久 議員

1. 道志村教育大綱に食育の項目を入れる必要は
2. 道志村の医療費の削減策は

■ 池谷 高明 議員

1. 道の駅駐車場整備後は

一般質問 村政を問う ここが聞きたい

※一般質問の形態・方法が変わりました。9月定例会より一問一答方式を実施しています。

6人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会ホームページで2月中旬ごろ閲覧できます。

議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は3月に開催します。
- ・ 傍聴の定員
- ・ 本会議10人(席の都合上)
- ・ 9月定例会の傍聴実績
- ・ 本会議7人
- ・ 問い合わせ 議会事務局

☎ 0554-521112

Q 小学校再利用計画はあるのか

A 公共施設総合管理計画策定中



佐藤

小学校再利用計画は

村長

学校施設として使用しない場合は、文部科学大臣が認める譲渡等の措置をとることで再利用が可能となります。現在、公共施設総合管理計画も策定中です。旧小学校校舎の再利用については、急傾斜地及び土石流の警戒区域内であることと耐震施設でないことをふまえて、検討をしていきたいと考えています。

教育課長

村独自の教育プログラムの推進を図っていききたいと考えています。具体的には、小中連携教育の推進・ICTを活用した教育支援・村単教員の配置等の継続的事業を実施する中で、新規事業として小中一貫教育の検討を開始すると共にコミュニティスクールづくりの強化を図り、また、子育てのための助成金の支給、就学祝金制度の確立等実

を締結し、移住希望者を優先的に雇用していただけるよう進めています。また、新規就農を希望

住民健康課長

具体的には、すこやか子育て医療費助成事業の対象年齢を18歳まで拡大、人間ドック助成事業の対象年齢を20歳以上の全村民を対象に拡大、結婚祝金を20万円に増額、第2子以降の保育料の無料化、放課後児童保育施設の新築など、児童福祉から高齢者福祉までの幅広い福祉施策に取り組んでいきます。

特産品の販路拡大を行い、交流人口の増加や定住人口の拡大をめざすことです。そのため、行政だけでなく各種団体、企業、観光事業者等の皆様にも活用していただき、道志村の様々な情報発信を行っていききたいと考えています。

(再質問あり)

Q 移住者の受け入れで職場・教育・福祉等などの取り組みは

A 村独自の助成制度

産業振興課長

職場については、道志村に縁のある企業と協定

Q 水カフェどうしの今後の役割は

A 交流、定住人口増のための情報発信拠点

村長

情報発信拠点として観光案内、移住・定住情報、



Q 老人福祉施設、事業者辞退後の検証委員会作りは

A 再度施設整備検討中、結果で委員会作りも考える



佐藤

老人福祉施設は、選定事業者の辞退により白紙になったが、検証委員会設立等の進捗状況は

村長

(仮称) 検証委員会等の組織は、現在、村当局で、再度施設整備の可能性について、複数の事業所と事前協議、検討を行っています。その結果で、今後委員会作りも考えていきます。

Q 老人福祉施設計画は第6期介護保険事業計画に基づいて進めた事業と思うが、残りの期間での特養計画の考えは

A 今後も最善を尽くして実現に向け努力する

村長

平成27年度から平成29年度までの中で計画しており、今後も最善を尽くして施設整備の実現に向け努力します。

Q この2年間で3200万円の予算を投じた道の駅の駐車場整備事業の成果と、運用実態は

村長

お盆とシルバークロウ等は、駐車場とし、花火大会時は芝生広場をメイン会場としました。運用開始後は国道もひどい渋滞はなく、一定の効果があつたと考えている。

Q (株)どうしの経営は、9月議会の中で、「村長から村長以外が社長であったほうが運営を

スムーズに行えること

もあるので検討していきたい」旨の答弁があつたが、その後の検討結果と何時頃までに結論を出すのか

A 当面は経営改善の目標を立て検討する

村長

村が出資の為、村長が社長を務めますが、村の政策が主たる仕事のため、容易に経営内容に踏み込めていないことは改善すべき課題であると思っております。当面は、経営改善の具体的な目標を立て、よりよい組織体制となるよう検討していきたいと考えます。

Q 総合計画の中に「車の運転ができない村民のため公共交通のあり方を検討していく」と

あるが、具体的対策は

A ニーズ調査を行い公共交通導入の検討へ

村長

前の総合計画にも掲げられ、多くの問題点を改正し、アンケートでも満足度が7.8ポイント上がりましたが、バス路線だけでなく、ニーズ調査を行う中で、公共交通体制の導入を検討します。(再質問あり)



Q 職員に対する人材育成は A 人事評価制度を導入



佐藤

役場職員の人材育成は

村長

村では人材育成基本方針をもとに、地域づくりを「最小の経費で最大の効果を上げる」この基本にたつて長期にわたつて、村に貢献できる職員の育成のため、勤務年数に応じた階層研修を受講させ、職場での役割を理解し、周囲とのコミュニケーション能力向上を目指しています。

具体的な取り組みとして、人材育成型の人事評価制度を導入いたしました。管理職員と職員が個別面談を行い、業績目標の設定、能力や取組姿勢について評価を行っているところです。

Q どの様な職場づくりに取り組んでいるのか

A 職員同士のコミュニケーションを基本に

村長

限られた財源と、人材を有効に活用することで、少数精鋭主義による行政運営が求められているところです。人事評価制度では、組織の全体目標と個人の目標を上司と部下の協働作業により統合し、マネジメントサイクルに沿って実行し、事務事業を効率的・効果的に進めることができることに、職員の士気を高揚し、創意工夫を促し、その自己管理に資するという効果があると考えます。職員同士のコミュニケーションを図り、活気ある村づくりが推進できるよう取り組んでいます。

Q 9月の入札では3社が、10月は1社から辞退

A 届が出ているが理由は、

工事番号16号で設計書と業者の見積書の確認はしたか

村長

A 現場代理人の確保ができず施工できない

業者から提出された辞退届によりますと、いずれの業者においても現場代理人が確保できない等の理由であり、十分な施工ができないために辞退をしたものと考えられます。また、工事番号16号についてですが、3回の入札で落札せず、最低価格を提示した業者と協議の上、契約をすることとなりました。

Q 移住コンシェルジュの活動は

A セミナー相談会に参加

村長

主な活動内容として、役場担当者と移住案内の勉強会、移住案内リーフレットの作成、移住案内ホームページの開設準備、また、「ふるさと帰郷センター」や「やまなし暮らし支援センター」を訪問し、移住専門支援員から移住案内について研修を受け、11月6日に東京で開催された「オール山梨移住セミナー相談会」に参加しています。

(再質問あり)



移住ガイドパンフ作成

Q 学童保育施設の活用は

A コミュニティスクールの強化を図る



たかまさ
杉本孝正 議員

杉本

「生涯暮らしていける村づくりを考えたとき、教育の充実・子育て支援は、欠かすことのできない本村の重要な課題です。そこで、来年4月開所予定の学童保育所活用のための具体案は

村長

学童保育所は、平成29年度の開所を目指して工事が進んでいます。主に共働きや一人親などの児童に対する子育て支援に係る施設です。道志村では、「まち・ひと・しごと創生」総合戦略における教育施策の具体的な事業として、コミュニティスクールの強化を掲げ、学校だけでなく塾等と連携した地域力の強化を図ることとしています。学習塾開設に向けての今後の予定は、小中学校に近く

保護者の送迎も容易であると考え、学童保育施設の利用を考えています。今後、学童保育施設の担当課及び小中学校との協議を進めながら、学童保育終了時または、休日等の学童保育施設を借りて実施したいと考えています。

Q 新たなドクターヘリポート建設は

A 防災ヘリポートは必要である

村長

ドクターヘリポート建設については、道志村の立地条件から救急時及び災害時の両面を想定した、防災ヘリポートが必要であると考

住民健康課長

平成26年9月に、村議

会の政策部会からもヘリポート候補地の提言書をしていただき、議会と共に検討を進めてきました。

その結果、神地地区から西側に4カ所のヘリポート候補地を選定し、専門家の助言を受けながら、最適地であるとして板橋地区への整備計画を進めていましたが、山梨

県によるヘリポート整備の補助金制度が確立できず、事業が見送られました。

このような状況を踏まえ、村では、道志村の立地条件から救急時及び災害時の両面を想定した、防災ヘリポートが必要であると考

え、平成27年度策定しました、「道志村過疎地域自立促進計画」に消防ヘリポートとして2カ所の計画を位置付けています。また、平成26年の1月から12月までの「ドクターヘリの要請状況」については、山梨県ドクターヘリ9件、東海大病院ドクターヘリ1件です。また、「新たな建設予定地などの考えはあるか」については、平成26年度に関係機関及び専門家等で検討してきました、候補地を中心に検討していきたいと考えています。

(再質問あり)



学童保育所建設現場



ながひさ
佐藤長久 議員

Q 道志教育大綱に食育の項目を入れる必要はないか

A 道志村食育推進計画の中で推進していく

佐藤

道志村教育大綱の基本方針、あるいは施策の基本的方向の中に食育の言葉、項目を入れる必要は。特に道志村食育推進計画の中における計画の位置付けは

村長

大綱では、根本的教育方針を定めているので食育の記述はありません。食育については、道志村食育推進計画の中で、推進します。

Q 大綱を制定するとき、教育経験者等の意見を聞くべきではなかったか。
A 次回の総合教育会議で実行は

A 協議、調整の内容より
適宜、依頼する

村長

大綱は村長と教育委員会で策定することとされているため、外の者の意見は聞かなかつた。今後この方針であるが、協議調整の内容により適宜依頼します。

Q 道志村教育大綱は広く公表すべきでは

A ホームページ等を利用し、今年度中に公表します。

Q 医療費の削減策に関し、山梨県立大学が行った道志村健康生活調査において、5項目にわたり課題提起されているが、これらの対応策は

A 道志村健康増進計画等で対応している

村長

村では平成25年度から10年の道志村健康増進計画をはじめ、特定健康診査実施計画、運動教室等により、住民の健康維持、増進を推進しています。

Q いきいき道志健診、特定健診は村民の健康

寿命を考えると、健康に健康だと思いが、健康には限界があり、健診と共
に和食を中心とした食育推進と研修活動が国保の収支改善には必要と考えるが

A 和食洋食にこだわらず
バランスの良い食生活を推進している

村長

生活習慣の見直し、集団健診や人間ドック受診により病気の早期発見・治療が医療費の削減につ

ながる要素である、国民健康保険の収支改善のためにも、健診と併せバランスの良い食生活の推進に今後も努力します。

Q 和食がユネスコの文化遺産に登録されたことについて見解は

A 伝統的食文化として認められたもの

村長

四季が明確な日本には多様な自然に基づく食文化があり特に、自然を尊ぶという日本人気質の食に関する習わしが、和食は日本人の伝統的な食文化と題して、ユネスコ無形文化遺産として、登録されたものと考えます。

(再質問あり)

Q道の駅駐車場整備は A国道に目立った渋滞なし



たかあき
池谷高明 議員

池谷

道の駅に駐車場が増設されましたが、整備後の使用状況と効果は

村長

芝生広場駐車場は7月30日から使用を開始しました。お盆とシルバーウィーク期間及び毎週土日には駐車場として利用しました。その他、清流の花火大会、クラフトフェアなどイベント時のメイン会場として利用しています。駐車場供用後は国道においては昨年ほどの目立った渋滞もなく、またフラットになったことにより、広場としても使いやすくなり、整備した効果を感じています

Q土日祝日は買い物客がスムーズにできないとの観光客からの声があるが、これについて改

善策は

A改良に向けて協議

村長

混雑時には買い物客をうまくさばけていません。原因は通路が狭いことや、レジが店舗の奥に設置されているため、行列ができた時には売り場のスペースまで侵害していることが原因であると考えられています。道の駅のスペースが限られていることから、改良についてコンサルと協議も致しましたが、建築確認や浄化槽の増設などの問題があり、現実的に増築は難しい状況です。現在、現場と打ち合わせをする中で、売り場の奥にある事務所や倉庫・休憩所まで拡張、またレジのレイアウトを変更するなど面積を変えずに行える規模での改築が必要

であると考えています。

(再質問あり)



整備された道の駅駐車場

議会活動報告

●議会改革を推進中、11月から委員会活動を活性化、一般質問など本会議議事録もHPで見られます

議会には総務文教及び建設厚生常任委員会があり、議員はどちらかに属しています。全員協議会、特別委員会で多くを議論してきたが、委員会でも議員間討議を活発に行い、必要に応じて調査し問題、課題を抽出して対策を村当局に提言することが目的です。

- ・総務文教常任委員会……総務課・教育委員会
- ・建設厚生常任委員会……産業振興課・住民健康課
ふるさと創生推進室
- ・広報常任委員会……議会だより年4回発行

政策提言した一部は12月補正で予算化されました。議会に対するご意見のなかに、一般質問の再質問には役場に来て議事録を閲覧してくださいと答えていましたが、議員間で協議し、12月定例会からは議会ホームページで見られるようにしました。(2月中旬)



●H27年度山梨県東部広域連合決算報告

平成28年3月31日

(I) 歳入歳出状況表

(単位：千円)

年度	歳入総額	歳出総額	実質収支額
平成26年	206,969	200,238	6,731
平成27年	202,634	189,965	12,669

(II) 構成市村分担金明細

(単位：千円)

区分 市町村	広域計画	介護認定	養護老人 ホーム	情報公開	障害認定	公平委員会	計
都留市	15,421	10,885	3,566	3	539	107	30,521
大月市	13,335	11,514	3,580	2	828	131	29,390
上野原市	11,939	9,231	4,044	90	215	75	25,594
道志村	1,913	1,486	423	—	47	11	3,880
小菅村	1,260	1,295	440	—	7	6	3,008
丹波山村	1,138	1,102	289	—	7	7	2,543
大月都留広域	—	—	—	—	—	7	7
計	45,006	35,513	12,342	95	1,643	344	94,943

※1 山梨県東部広域連合は行政の能率化、効率化を図るための特定の事務を構成市村で共同処理する、特別地方公共団体です。

※2 広域連合の財政運営は三市、三村の負担金と老人ホームの措置費で運営されています。

動 報 告

●都市、農村共生社会創造シンポジウム in 山梨参加

平成 28 年 10 月 12 日

山梨県町村会主催によるシンポジウムが富士川町ますほ文化ホールにて、5人の講師、パネリストを招き開催され道志村議会から7名が出席しました。

今回の開催趣旨は、昨今の農山漁村に対する都市住民や若者の関心の高まりを田園回帰と捉え、都市と農村が共生するための条件を山梨県内外の動向を捉えながら移住者と共に考える、というものでした。今回の提言内容は、地域の、人、家、職、自治組織、教育（郷育）と多方面に亘り内容の濃いもので今後の議会活動へ活かしていきます。



●富士・東部建設事務所吉田支所長に陳情

平成 28 年 10 月 14 日



国道 413 号は東京、神奈川方面と国際的観光地富士五湖と富士山を結ぶと同時に、地域住民の通勤、通学をはじめ産業や経済及び災害時の避難路線としても最重要路線に指定されています。近年圏央道開通に伴い交通量が増加し、交通事故が多発しており住民の安心安全が脅かされております。

村議会が独自に危険箇所調査を実施し、村からの要望として、国道県道 9ヶ所、河川砂防 5ヶ所を富士・東部建設事務所吉田支所長に要望書の提出をしました。

●町村議会広報研修会（東日本大会）に参加

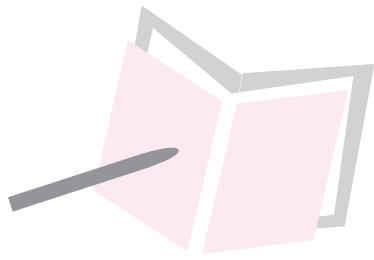
平成 28 年 10 月 25 日

東京都の砂防会館での研修会に全員で参加しました。山梨県からは本村を含め 6 町村の参加があり、全国では 199 町村の参加で 2 日間に分かれての大会でした。

内容を集約すると「伝わる、議会広報誌」で 3 講演を受講しましたが、多くの町村で課題は共通しており「読んでもらうには」が一番のテーマでした。

企画立案のチェックポイント、写真の効用、タイトルの付け方、人はなぜ読むのか、等の参考資料も活用した今後につながる有意義な研修会でした。





議会活

●株式会社どうしへの提案

平成 28 年 10 月 26 日

『株式会社どうし』指定管理者に対し、道志の湯薪ボイラー稼働率について議会全員協議会に於いて調査を実施した結果、稼働率 72%を確認した。薪ボイラー構造と性能から 100%稼働することで耐火煉瓦の劣化が最小限になるとともに、化石燃料の使用量を最小限にすることが運用益に繋がるものであります。

また、同時に木の駅より購入する薪に於いても移動・運搬・搬入作業が人力により大変効率が悪く一連の作業を機械化できるよう、薪ストックホルダーを整備する提案を行いました。指定管理者に受理され実施されることになりました。



提言書提出

●新任議員研修会参加

平成 28 年 11 月 25 日



荒木幸弘氏による講義

山梨県自治会館で町村議会新任議員研修が行われ、新任議員 5 人全員で参加しました。内容は山梨学院大の江藤俊昭先生の「小規模自治体における議会の役割」と全国町村議会議長会議事調査部参与、荒木幸弘氏の「議員活動と議会の権限」と題して、これからの議員としての心構え、住民と歩む議会、連携する議会、行政に対して議会がどのように対応して行くのかなど、大変参考になる研修で、参加者全員熱心に受講してきました。

●中学校授業見学と学校給食の試食

平成 28 年 12 月 6 日

総務文教常任委員会の委員会活動として、4月から新校舎に移転し新たな環境で学習する、1年生から3年生の授業を見学しました。県内で4校、郡内では唯一道志中が、指定を受けた「アクティブ・ラーニング」授業を見学しました。

また、栄養教諭の船川先生から、できる限り地産地消への取り組みや、食育についての説明を受けながら議員全員で給食をいただきました。



旬の食材や地場産物へのこだわり給食

※アクティブ・ラーニングとは、教員からの一方向的な講義で知識を覚えるのではなく、生徒たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのが目的。

あの一般質問は今…

平成24年6月定例会

質問 内水面漁業の振興は

道志村漁協の事業収益の減少は、河川環境の変化によるものが主原因であるが、専門家の調査を実施して指導を受けながら改善策を検討する。

答弁

平成26年12月定例会

質問 健康寿命を延ばす方策は

健診事業、予防接種事業、乳幼児健診事業、介護予防事業、運動教室を実施して医師の事後指導、保健指導と併せ元氣住民の増加を図っていく。

その結果今は



- 1) 毎年、健診事業、特定健診、保健指導運動教室を実施している。
- 2) 平成23年度から減少していた1人当たりの医療費も平成26年から増加に転じている。
- 3) 国保の保険料も県内平均より1人当たり957円高くなっている。



- 1) 東京海洋大学、奥野教授の道志川における環境調査を平成25年に実施し、平成26年2月4日改善提案を受けた。
- 2) 同改善案を受け増殖、漁場管理に努力している。

議会の考え

健診活動、事後指導、保健指導、栄養改善推進委員活動と併せ、食の見直しが必要と思われる。

環境調査の提案に基づく漁場管理に努力していただきたい。

紹介

道志村子ども農山漁村地域協議会

会長 佐藤 光男

子どもから大人まで

交流事業への期待！

日頃より、道志村子ども農山漁村地域協議会の活動に深いご理解とご協力を戴き村民の皆様感謝申し上げます。



田植え体験

当協議会は、平成19年に設立、現在19名の会員（村内の各種団体）で構成されており、主な活動は、子ども農山漁村交流プロジェクトで全国の小学5年生を対象に長期宿泊（4泊）体験学習の受入れを行うために村内の受入れ体制整備事業で農山村での生活体験から「生きる力」や「協力する力」を育む機会として、都市部では味わえない環境での教育旅行・交流型体験学習を推進して

おります。この実績が認められ、平成20年度には3省連携（文部科学省・農林水産省・総務省）「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受け入れモデル地域（体制整備型）として認定を受けました。平成22年度には、一般客も対象にと道志村の自然や文化、歴史等体験を通じて学べる施設として「みなもと体験館道志・久保分校」が開館し久保地域の協力を経て実行委員会から運営委員会となり、当協議会が指定管理者として維持管理運営を行なっております。

子どもから大人まで幅広い層に向けた多様な事業で、料金設定の見直しや広報活動を幅広く展開しニーズに合わせた体制をつくり収益構造を図ります。更なる交流機会の拡充、所得の向上、定住促進へと繋げていきます。施設は、地元の集会場、避難場所、公民館機能も果たしております。

日々道志村の新しい魅力の発見や創造、人との交流やネットワークの構築、地域全体が活性化するように関係機関との連携を図りながら、道志村の美しい自然を守り、森や水の役割を子どもから大人まで幅広い層に向けて情報発信していきます。皆様の御支援ご協力をよろしくお願い致します。



春の恵み 山菜採り

がんばる人紹介

人と人をつなぐボランティア活動



あすなる会
会員 仲井 義晶 よしあき

美しい自然と暖かいご近所のお付き合いの心地よさで、妻と二人、東京から道志村に移り住んで5年になりました。

人と親しくなるにはボランティアが一番と思い、社協を通じ「あすなる会」に入会。診療所の送迎ボランティアに関わり、利用者から「助かるよ」と喜ばれた体験をしました。そのうちにお弁当配達やふれあいサロンの準備、雪かき、学童保育やデイサービスでの絵手紙のお手伝いなども行うようになりいろんな方から気軽に言葉をかけられ親交も広がるようになりました。

何か役に立てばと思い始めた活動ですが「人と人のつながりがある

り心が通じることがボランティアなんだ」ということをつくづく実感しました。

一方で高齢化による会員の減少に歯止めがかからず活動の停滞が懸念されます。その解決のために、誰でも気軽に参加できる広がりのあるボランティア組織の育成強化に向けた話し合いが必要と考えます。



ふれあいサロン

写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

編集後記

12月定例会は6日から9日までの会期で行われました。広報委員になり半年が過ぎ、議会だよりも3回目の発行となりました。少しずつ自分達のオリジナルを交え読みやすく、読んでもらえるよう努力しています。

また議会では、議会改革の環境として、委員会活動の活性化を通じ、村民に広く議会活動を知ってもらい、議会の見える化に努力していきます。

平成29年が村民の皆様に取りまして最良の年になりますよう、お祈りします。(杉本孝正)

広報常任委員会

委員長 菅谷 政文
副委員長 佐藤 長久
委員 杉本 孝正
委員 佐藤 進